

南都育英会奨学金

返 還 の て び き

公益財団法人

南 都 育 英 会

目 次

□卒業生の諸君に 正しい返還	2
□約束の返還方法	3
□奨学金借用証書等の記入方法 奨学金借用証書 奨学金返還明細書 返還者原票	4
□返還猶予 返還方法の変更 返還免除 返還猶予・返還免除の決定	6
□延滞金 その他届	7
□願・届の様式と用紙	8
□返還の記録	18
□連絡 メモ	19

卒業生の諸君に

この小冊子は、南都育英会が貸与した奨学金の返還と返還免除についてその手続きと要領をまとめたものです。

借用証書の作成にはじまる返還関係のいっさいの事項は、すべて規定通りの手続きによっておこなわれる必要があります。

口座振替による返還、返還猶予等必要な手続きを適時適切にとることができるよう通読し、まずその大要を理解するとともに機に応じて十分これを活用して下さい。

正しい返還、三つの約束を守りましょう

1. 期限を守って約束通りに

- 返還は口座振替のみとします。
- 口座振替依頼書の振替指定口座は、原則、奨学金振込口座（奨学金が振り込まれていた口座）を記入して提出して下さい。返還中にやむを得ず口座を変更する場合は、改めて口座振替依頼書を提出して下さい。
- 借用証書で約束した通り、毎年の返還年賦額を約束の返還期日までに振替指定口座に入金して下さい。
- 返還期日を忘れないよう注意して下さい。

もしも、遅れた場合は下記口座に直接振込をお願いします。

(南都銀行本店・普通預金 口座番号 212093 名義 公益財団法人 南都育英会)

振込は手数料が必要です。奨学生番号も忘れずに記入して下さい。

2. いつも住所や姓名をはっきりと

- 移転した場合はすぐ転居届（様式3）を提出して下さい。
住所不明は連絡等に支障をきたしますので注意して下さい。
- 姓が変わった場合も同様、改氏名届（様式3）を提出して下さい。

3. 返還が困難になったら手続きを

- 病気、災害など正当な理由により返還が困難な時は、返還猶予願（様式7）を提出して下さい。返還期日までに願い出ることが必要です。

ご 注 意 く だ さ い

○奨学生番号を忘れずに

本会の事務はすべて奨学生番号で整理されています。本会への連絡、願、届や返還の払込等のときは忘れずに。

○返還金の照会のときは

奨学生番号、氏名を申し出て照会しましょう。

約束の返還方法は

忘れないよう、メモしておきましょう。

区 分	A	B
奨学生番号		
借用金額	円	円
返還総額	円	円
返還年賦額	円	円
最終年賦額	円	円
返還期間	年	年
返還期日	年 月 27日	年 月 27日
連帯保証人		
保証人		

奨学金借用証書等の記入方法について

「借用証書」の記入

- 借用金額・・・在学期間中貸与を受けた全部の金額です。
- 連帯保証人・・・あなたと連帯で返還の責任を負います。父母兄弟またはこれに代わる人を選んでください。出願の時と同じ人が原則ですが、事情があれば変わってもやむを得ません。
- 保証人・・・あなたや連帯保証人の住所が分からない時、あなたや連帯保証人が返還できない時に、あなたに代わって返還する人です。
 - * 連帯保証人と世帯が別で、独立して生計を立てている成年者（なるべく高齢者はさける）に依頼して下さい。
- 署名と印鑑・・・あなたはもとより連帯保証人についても必ず、その人本人に署名押印してもらって下さい。
 - * 連帯保証人、保証人は実印で押印して下さい。
(3ヶ月以内発行の印鑑証明書を添付して下さい)
 - * 書き損じた場合は、訂正箇所にて規を当て2本線で抹消し、その上に訂正印を押し、訂正箇所の上部に書き直して下さい。

「奨学金返還明細書」の記入

- 奨学生番号・・・奨学生採用通知に記載のとおり採用年度、番号等を間違いなく記入して下さい。
- 氏名・・・フリガナはカタカナではっきりと記入して下さい。
また生年月日も忘れずに記入して下さい。
- 学校名・・・奨学金を受けていた時に在学していた学校名を記入して下さい。
- 返還総額・・・借用金額と同じです。
- 返還年賦額・・・返還年賦額を決めて下さい。
原則年賦（1年に1回の返還）ですが、半年賦、月賦も可とします。返還年賦額は、返還総額÷返還期間で算出して下さい。
 - * 返還年賦額の目安として（別表、奨学金返還年賦額区分表を参考に）して下さい。尚、この表は返還期間を最長の20年で計算しています。
 - * いつでも繰り上げ返還することも可能です。
- 返還期日・・・第1回目の返還の期日（応答月の27日が返還日となります。
27日が銀行休業日の場合は翌日となります）を記入して下さい。

次年度からは、同月27日が口座振替日になります。

半年賦もこれに準じます。(指定半年賦月の27日が口座振替日)

- 返還期間・・・貸与の終了した月の翌月から起算して3カ年を経過した後、20年以内です。(据置期間3年に関係なく翌年からでも結構です。)
- 金額内訳・・・貸与月額ごとに借用期間、借用月数、貸与月額、借入金額を記入して下さい。(例えば大学奨学生で自宅通学の人が途中で自宅外通学になり、月額貸与金の変更があった場合などです。また、逆の場合もありますから注意して下さい。)
- 休、停止期間・奨学金の休止または停止されたことのある人は、その期間と理由を必ず記入して下さい。
- 特記事項下段に振替指定口座のNoを記入して下さい。

(別表)

奨学金返還年賦額区分表

返還総額	返還年賦額	返還総額	返還年賦額
200,000 以下	15,000 円	700,000 超～800,000 以下	50,000 円
200,000 超～300,000 以下	20,000 円	800,000 超～900,000 以下	55,000 円
300,000 超～400,000 以下	25,000 円	1,000,000 超～1,200,000 以下	60,000 円
400,000 超～500,000 以下	30,000 円	1,200,000 超～1,300,000 以下	70,000 円
500,000 超～600,000 以下	40,000 円	1,400,000 超～1,500,000 以下	80,000 円
600,000 超～700,000 以下	45,000 円	1,600,000 以上	返還総額の 1/20

「返還者原票」の記入

- 本人との続柄・・・戸籍筆頭者があなたの何にあたるか(父・母など)を記入して下さい。
- 卒業後の連絡先・郵便物が確実に届くところを都道府県名から番地○○方まで記入して下さい。
特に読み難い字は漢字とカタカナの両方ではっきり記入して下さい。
- 本人勤務先・・・就職先が決まった人や、現在就職している人は必ず記入して下さい。
決まっていない人は空欄にしておき、決まり次第すぐに住所および職業届(様式10)を提出して下さい。

返 還 猶 予

次の各項に該当する場合は、返還期日までに手続きをして下さい。(様式7)

- ① 災害により損害を被ったとき
- ② 傷病によるとき
- ③ 大学・大学院またはこれと同程度の学校に在学するとき (証明書として様式6)
- ④ 医学実施修練に従事するとき
- ⑤ 海外の学校に在学、または研究に従事するとき
- ⑥ その他、特殊事情によるとき

「奨学金返還猶予願」を提出する場合は、次の証明書を添付してください。

願い出の事由	証明書	猶予される期間
災 害	市町村長 医師	その事由が続いている期間中は、1年ごとに願い出る
傷 疾 病	医 師	その事由が続いている期間中は、1年ごとに願い出る
	民生委員	保護観察中
在 学	学校長	在学中
外国に留学中または外国で研究中	その学校または機関の長	1年ごとに願い出る 通算して5年が限度
その他真にやむを得ない事由があって返還が困難	その事実を証明できる第三者	1年ごとに願い出る 通算して5年が限度

返還方法の変更

借用証書で約束した返還方法を変更しなければならないときは、返還期日前までになるべく早く願い出ましょう。(様式5) 事情によっては変更も認めます。

返 還 免 除

返還の免除は、死亡の場合と心身障害の場合の2通りがあります。

返還免除を受けようとする場合は、返還不能の事由が生じた時から1年以内に、あなた又は相続人が、連帯保証人と連署のうえ、次の書類をそろえて本会宛に提出して下さい。

死亡による免除	心身障害による免除のとき
1. 奨学金返還免除願（様式8）	1. 死亡のときに同じ
2. 返還不能の事情を証明する書類（家庭状況書）（様式9）	2. 〃
3. 死亡届（死亡診断書添付）（様式1）	3. 医師の診断書
4. 本人死亡の事実を記載した戸籍抄本（住民票ではいけません）	

返還猶予・返還免除の決定

返還猶予・免除などの願い出があった場合は、理事長において審査決定し、その結果を本人、相続人または連帯保証人に通知する。

そ の 他 届

連帯保証人（保証人）変更届

死亡その他の事由により連帯保証人（保証人）に変更が生じたときはすみやかに提出して下さい。（様式2）

勤務先変更（転職）届

勤務先の変更や、転職した場合はただちに提出して下さい。（様式4）

(様式1)

死 亡 届

年 月 日

南都育英会理事長殿

相続人または連帯保証人 氏 名

㊞ (実印)

(発行3ヶ月以内の印鑑証明書添付)

住 所

下記のとおり死亡しましたから、死亡診断書を添えてお届けいたします。

- 1 奨学生番号
(フリガナ)
- 2 氏 名
- 3 出身学校名
- 4 死亡年月日 年 月 日
- 5 死 因 (病気によるときは病名、その他のときは事由を詳細に記入すること)

(様式2)

連帯保証人（保証人）変更届

年 月 日

南都育英会理事長殿

出身学校名

奨学生番号

(フリガナ)

本人氏名

印

住所

下記のとおり変更しましたから、お届けいたします。

1 新連帯保証人（新保証人）

(フリガナ)

(1) 氏名

印 (実印)

(3ヶ月以内発行の印鑑証明書添付)

(2) 生年月日

(3) 本人との続柄

(4) 現住所

2 旧連帯保証人（旧保証人）氏名

3 変更の事由

(様式3)

転居（改氏名・転籍）届

南都育英会理事長殿

出身校

奨学生番号

(フリガナ)

氏 名

㊞

下記のとおり転居（改氏名・転籍）しましたのでお届けいたします。

<本 人>

(フリガナ)

新氏名

(フリガナ)

旧氏名

(フリガナ)

新住所 〒

(フリガナ)

旧住所

電話番号

<連帯保証人・保証人>

(フリガナ)

新氏名

(フリガナ)

旧氏名

(フリガナ)

新住所 〒

(フリガナ)

旧住所

電話番号

(様式4)

勤務先変更（転職）届

年 月 日

南都育英会理事長殿

奨学生番号

出身学校名

(フリガナ)

氏 名

印

(フリガナ)

住 所

下記のとおり勤務先変更（転職）しましたから、お届けいたします。

- 1 新勤務先
- 2 新勤務先所在地
- 3 電話番号

(様式5)

奨学金返還方法変更願

年 月 日

南都育英会理事長殿

奨学生番号

出身学校名

(フリガナ)
本人 氏 名
(フリガナ)
住 所

印

(フリガナ)
連帯保証人 氏 名
(フリガナ)
住 所

印 (実印)

(3ヶ月以内発行の印鑑証明書添付)

(フリガナ)
保 証 人 氏 名
(フリガナ)
住 所

印 (実印)

(3ヶ月以内発行の印鑑証明書添付)

下記のとおり奨学金返済方法の変更をお願いいたします。

1. 希望の返還方法

- | | | |
|-----------|----|-----|
| (1) 返還期限 | | 年間 |
| (2) 返還期日 | 毎年 | 月 日 |
| (3) 返還年賦額 | 年額 | 円 |
| | 最終 | 円 |

2 事 由

(様式6)

在 学 届

年 月 日

南都育英会理事長殿

奨学生番号

出身学校名

(フリガナ)

氏 名

㊟

(フリガナ)

住 所

下記のとおり在学していますから、お届けいたします。

1 学校名 大学 大学院 第 年

2 卒業予定期 (正規の最短修業期) 年 月

(出身学校において奨学金を 年 月まで受領

(借用終了事由 満期・辞退・退学・廃止

上記のとおり在学している事を証明します。

大学長氏名

㊟

(様式7)

奨学金返還猶予願

年 月 日

南都育英会理事長殿

奨学生番号

出身学校名

(フリガナ)

氏 名

印

(フリガナ)

住 所

電話番号

下記のとおり奨学金の返還を猶予していただきたいので、お願いいたします。

1 希望の返還猶予期間

年 月 日から 年 月まで

2 事由 (箇条書きのこと)

{災害・傷病・外国留学・入学準備・未就職・失職(元勤務先)など
について、家族状況とともに詳細に記入すること}

(様式8)

奨学金返還免除願

年 月 日

南都育英会理事長殿

(フリガナ)
相続人 氏 名 ㊟ (実印)
(本人との続柄：)

住 所

(フリガナ)
連帯保証人 氏 名 ㊟ (実印)

住 所

下記のとおり奨学金の返還を免除していただきたいので、別紙証明の書類を添えてお願いいたします。

(フリガナ)

- 1 借用者氏名
奨学生番号 学校名
- 2 借用金額 円
- 3 返還済の金額 円
- 4 返還未済の金額 円
- 5 免除を希望する金額 円
- 6 免除願出の事由
- 7 死因 (病名など)
- 8 本会への死亡届提出日 年 月 日

- 注意
- 1 心身障害による場合は、相続人氏名の代わりに本人氏名とすること
 - 2 添付書類
 - (1) 死亡によるときは、本人の死亡を証する戸籍謄本、心身障害によるときは、その事実および程度を証する医師または歯科医師の診断書
 - (2) 奨学金返還不能の事情を証する書類
 - (3) 印鑑証明書 (発効日から3ヶ月以内のもの)

(様式9)

奨学金返還不能の事情を証する書類 (家庭状況書)

年 月 日

(フリガナ)
相続人 氏 名 ㊟ (実印)
(本人との続柄:)

(フリガナ)
連帯保証人氏 名 ㊟ (実印)

(フリガナ)
保証人 氏 名 ㊟ (実印)

下記のとおり相違ありません

- 1 返還不能の事情
- 2 家族構成
- 3 資産状況
- 4 生活状況
- 5 連帯保証人・保証人の状況

上記のとおり相違ないことを認めます。

(証明者) 住 所
職 業
氏 名 ㊟

- 注意 (1) 心身障害の場合は、相続人氏名の代わりに本人氏名とすること。
(2) 証明者は、本人・相続人・連帯保証人または保証人以外の者でなければならない。なるべく市区長村長、民生委員等、公職にあるものとする。
(3) 印鑑証明書添付 (発効日から3ヶ月以内のもの)

(様式10)

住所および勤務先届

年 月 日

南都育英会理事長殿

奨学生番号

出身学校名

出身学校において奨学金を 年 月分まで受領
借用終了事由 満期 辞退 退学 廃止

(フリガナ)

氏 名 _____ 印

勤務先名 _____

所在地 _____

電話番号 _____

現住所 借用証書に記入した卒業後の連絡先と同じとき (1)

異なるときは (2) へ記入してください。

(フリガナ)

(1) _____

(フリガナ)

(2) _____

- 注意 1 提出期限は卒業後6ヶ月以内であるが、勤務先や現住所が確定したらすみやかに提出すること。
- 2 貸与終了後引き続き、大学院に進学し、在学届を提出したものは、提出を省略してもよい。

返 還 の 記 録

本会からは領収書を発行しません。銀行の口座振替記録、振込時の領収書が証拠書類となりますから、大切に保存して下さい。

なお、全額返済になったときは、完了通知を発行します。

第1回	年度分	返還日	第11回	年度分	返還日
第2回	年度分	返還日	第12回	年度分	返還日
第3回	年度分	返還日	第13回	年度分	返還日
第4回	年度分	返還日	第14回	年度分	返還日
第5回	年度分	返還日	第15回	年度分	返還日
第6回	年度分	返還日	第16回	年度分	返還日
第7回	年度分	返還日	第17回	年度分	返還日
第8回	年度分	返還日	第18回	年度分	返還日
第9回	年度分	返還日	第19回	年度分	返還日
第10回	年度分	返還日	第20回	年度分	返還日

メ モ

連絡メモ

(本会への照会・願・届出をメモしておきましょう)

年 月 日	事 項

公益財団法人 南都育英会

〒630-8677 奈良市橋本町16番地
株式会社 南都銀行内

☎ 0742(22)1131 (大代表) 内線726

直通電話 0742(27)1592